

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2007.7.20
Vol.88

CONTENTS

■巻頭メッセージ

「BPW 再生にむけて」

黒崎伸子会長

■「ワーク・ライフ・バランスシンポ

ジウム」推進事業について

■4月評議会議事録

■重要:コングレス最新情報

■アジア太平洋地域会議

～次号(89号)予告～

特集:エジプト訪問記

和歌山総会で盛り上がった勢いで
出かけたエジプト。そこで見たもの
は?

日本BPW連合会ニュースレター

発行人:黒崎伸子 広報委員会編集

日本BPW連合会事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=pub@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

BPW 再生にむけて

連合会会長 黒崎伸子

2007年2月、和歌山大会で新たな連合会役員・常任委員長が選出され、4月評議会に集まった全国の各クラブ代表の方々とともに、今年度の取り組みについて再確認をしました。来年は連合会発足から50年を迎える日本BPW連合会です。時が流れ、社会情勢も変わり、私たちの組織も少しずつそれに沿って変化しながら動いてきました。しかし、私たちの会の目的、つまり、私たち女性が手を繋ぎ合おうとした理由はずっと変わっていません。軸足をしっかりと据えていながら、視野を世界に広げ、かつ国内の各地域での活動の活性化の格差がありながらも連帯してきた連合会です。

2月の総会で、一人1,500円の会費値上げをご承認頂きました。総会や連合会とのつながりの見えにくい方々からは、連合会会費を“上納金”とさえ表現されるのは、今に始まった訳ではありません。連合会役員・委員長は、これまでもずっとそれぞれの仕事が終わったあとに、或いは合い間をみつけて、ブロック研究会の支援、名簿の作成、ニュースレターの編集・発送、各種連絡、財政援助のための物販活動、若い世代の支援のためのネットワークづくり、海外のBPWとの連絡、BPW国際組織との情報交換など、さまざまな雑務をこなしてきました。しかし、これら拡大役員の活動が連合会に所属している各クラブの全会員にまで伝わってこなかったのだと思います。つまり、連合会は全国の各クラブが集まってつくられており、各会員が意識する連合会の存在は、クラブの立ち位置によって違っていたのです。

しかし、これからは少しでも全国に広がる全ての会員が連合会への帰属意識を持てるように、そして、そのメリットを感じ、年会費8,500円を納得いただけるような活動を展開しなくてはならないと連合会役員一同、今、張り切っております。

これまでも、企画、組織、国際、広報、財務、ヤングという6つの常任委員会にはブロック委員を置いて、各常任委員長のサポートをお願いしてきましたが、ただ名前を出しているだけという実態でした。これからは、このブロック委員の方々には、もっと連合会の活動に関与して頂きたいと思っています。また、今年は、「コングレス準備委員会」「法人化検討委員会」「50周年事業準備委員会」という3つの特別委員会が発足しました。これにも、各ブロックから選ばれた委員が登録して下さいました。ICTsを十分に活用して、より活発な意見交換と情報提供をしながら、中身の見える連合会であることをめざします。

また、内閣府男女共同参画局へ提出した「ワーク・ライフ・バランス推進事業」企画案が承認され、補助金が入ることになりました。全国リレー・シンポジウムという企画ですが、「ワーク・ライフ・バランス」とは、働く女性たちがこれまでも訴え続けてきたことであり、まさにBPWの課題です。全国のみなさまのご協力をよろしくお願い致します。

ワーク・ライフ・バランス シンポジウム推進事業について

このたび、内閣府の「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進事業」にBPWとして申請していた企画が承認され、助成を受けられることになりました。

すなわち、「ワーク・ライフ・バランス」をテーマにして、内閣府とBPW 連合会の共催でリレー・シンポジウムを全国で展開していくことになりました。

地元でこのようなシンポジウムを開催したいと思われるクラブは、8月15日(水)までに、日本BPW連合会本部

までお申し出下さい。

内閣府「『ワーク・ライフ・バランス』推進の基本的方向報告「～多様性を尊重し仕事と生活が好循環を生む社会に向けて～」は、以下の URL で入手できます。

<http://www.gender.go.jp/danjo-kaigi/wlb/pdf/wlb19-7-2.pdf>

2007 年 日本 BPW 連合会 第 1 回 評議会議事要録

【日 時】 2007 年 4 月 22 日(日) 13:00～16:30

【場 所】 女性と仕事の未来館 セミナー室

【出 席】 役員(6 名)、常任委員長(5 名)、単位クラブ会長(18 名)

1. 2007 年度の中心となる活動(黒崎会長より報告・提案)

○今年度の中心となる活動は、①組織の活性化・安定化(組織のあり方、システム、役割分担など)と②財政基盤の安定化である。

○上記とは別に短期的な課題として、A.コンgress準備、B.50 周年事業、C.法人化がある。

○副会長の担当するブロックと委員会

副会長名	担当ブロック	担当常任委員会	その他の委員会
塩崎	近畿、西日本	広報、財務	法人化検討委員会
余語	中部	企画、国際	コンgress準備委員会、友の会
遊佐	東北・北海道 関東・山梨	組織、ヤング	50 周年事業準備委員会

○ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

2. 各種特別委員会の発足と委員の選出について

・「法人化検討」「コンgress準備」「50 周年」それぞれの委員会を立ち上げることとする。

・委員長は、それぞれ関連の深い担当副会長、50 周年事業委員会については、平松前会長にお願いします。

(1) 法人化検討委員会

○総会での会費値上げの承認には、財政基盤安定化の一案としての法人化の提案も含まれていた。よって、実質的な検討作業を開始する。

委員長-塩崎財務担当副会長

委 員-黒崎会長、藤田会計、土田財務委員長、松原元副会長、各ブロックから推薦委員*

*委員の条件:法人等立上げの経験者あるいは関係法律等の専門家、メールができること

※2008 年総会で法人化が可能か報告。次の 1 年で

さらに検討し、3 年をメドに法人化の予定。

(2) コンgress準備委員会(次回は 2008 年 10 月 24～28 日 メキシコ・メキシコシティにて開催)

○業務としては、①コンgressに関する情報の把握と発信(=参加への promotion) ②スイスコンgress決議等の見直し ③日本からの決議・規約改正案提出検討 ④日本からのBPW役員立候補の検討 ⑤直前の決議案・規約改正案の翻訳 ⑥代表・代表代理の決定 ⑦その他→これら①～⑦の検討結果を提案。これらに基づき、最終的には連合会役員会で決定。

委員長-余語国際担当副会長

委 員-黒崎会長、山野国際委員長、堀ヤング委員長、土田財務委員長+各ブロックからの推薦委員*

*委員の条件:英語(またはスペイン語)ができ、メールができること。できればコンgress参加経験者
※2008 年年明け以降、参加メンバーを加えた委員会とするかどうか、再検討する。

(3)50 周年事業準備委員会(当面は準備委員会。2008 年度は実行委員会となる。)

○実施する事業内容の検討とそれに関わる財源確保などの検討も行う。

①福岡総会(2008 年 2 月 16～17 日)を 50 周年記念大会として企画 ②50 周年記念冊子の発行(先輩の業績を伝え、今後の活動につなげるという視点で) ③上記とは別に 50 周年記念イベントを開催するかどうか?

※①～③の詳細を委員会で決め、役員会に提案する。

委員長-平松前会長

委 員-黒崎会長、遊佐副会長、佐藤企画委員長、鈴木組織委員長、二ノ宮広報委員長、+各ブロックから推薦の委員*

*委員の条件:メールでやりとりができること。パソコン入力ができること。

3. 今年度の財政状況についての報告(藤田会計)

(1) 会費納入状況

2007 年 4 月 22 日現在ですべてのクラブから入金済、今年度の会員数は 505 名。BPWへは 505 名で登録。

- (2) 3月1日、友の会より40万円を入金いただいた。
 (3) 2004～2006 年会員名簿の差替え費用が未払いのクラブについては、支払いまたは入金のこと。
 (一人 700 円×2006 年度会員数)
 (4) 今年度会費値上げ(一人当たり 1,500 円) 分についても、支払いまたは入金のこと。

振込先 みずほ銀行 新橋支店 普通預金 1306469
 口座名義 日本 BPW 連合会 会計 藤田ひろみ

4. 国連 CSW インターン派遣報告 (黒崎会長)

○2007 年 2 月 24 日～3 月上旬に開催された国連婦人の地位委員会に、BPW からインターン 2 名を派遣。テーマは「女兒に対する暴力の撤廃について」。若い世代を支援する国際的な活動として注目も集めている。今後は BPW として金銭的なサポートも必要。企業等からの寄付を募ることも検討していく。

○5 月開催の韓国での BPWI アジア太平洋地域会議について

5. 2007 年度 常任委員会活動計画について

○各常任委員会委員長が、以下の内容の 2007 年度の活動計画と要点を提案し、確認された。

■企画委員会

委員長 佐藤道子 (担当役員: 余語副会長)
 全体目標「BPWI および日本 BPW 連合会の統一テーマへの取り組み」(年間予算 150,000 円)
 ☆共有できる企画案として、ワーク・ライフ・バランスに関するシンポジウムを検討することを確認

活動計画項目
1. BPWI 活動テーマおよび連合会統一テーマの認識アップ及び共有できる企画立案 1) BPWI テーマ「New Dimensions of Leadership-新しいリーダーを目指して-」及び連合会「07～'08 年テーマ「リーダーシップを発揮しよう！」そして連合会の「07 年活動方針①組織強化のためのネットワーク推進②プロフェッションとしての特性を生かす③財政運用の見直しを意識した企画の提案及び各クラブへの協力。 2) ブロック委員の協力により、各クラブの企画の情報収集および、広報委員会の協力による成功事例の共有を図る。 3) 共有できる企画として「ワーク・ライフ・バランス」に関するシンポジウムを計画する。
2. 各ブロック研究会との連携……各企画の把握と情報提供への積極的参加…内外への情報提供 1) 各ブロック委員・担当クラブとのより密接な連携。 2) 開催告知・実施報告等の情報提供については、広報委員会と協働する。さらに、連合会主催および一般公開の形式を周知し、より多くの参加を呼びかける。
3. ヤングスピーチコンテスト・全ブロックでの地区大会実施 1) 全ブロックでの開催に向けて、スピーチコンテストへの理解と協力の要請。2) 支援スポンサーの開発および獲得を図る。

【ブロック研究会およびスピーチコンテスト開催】

(企画委員長及び各ブロックより報告)

○下記の日程での開催予定と副会長がそれぞれの担当ブロック研究会に出席することを確認。
 西日本については、日程の都合で余語副会長が出席の予定。

ブロック/担当クラブ	日程・会場	テーマ・内容	ヤングスピーチコンテスト
北海道・東北・青森	10/20 (土) アスカ会館	青森クラブ 35 周年記念と兼ねて実施	同時開催予定
関東・山梨・東京	6/23 (土) 津田 英語会	「国際社会に求められる女性リーダーとは」講師: 大谷美紀子氏	同時開催
中部・名古屋	6/30 (土) ウィルあいち	「映画の中の働く女性像～アメリカ映画を通して～」講師: 高野 史枝氏	10/13 予定
近畿・大阪	11/24 (土)	「環境問題と女性参画推進 (予定)」	同時開催予定
西日本・北九州	11/17 日	企業における女性の活用について (調査報告などもふまえて)	同時開催予定

■組織委員会

委員長 鈴木千恵子 (担当役員: 遊佐副会長)
 全体目標「組織の充実と拡大」(年間予算 15,000 円)
 ☆名簿作成についての確認事項
 クラブからの意見を踏まえ検討した結果、名簿の取り扱いとは次のように行うこととした
 ⇒各クラブからの報告を 5 月 26 日までに集約し、新名簿を作成する
 新名簿は各クラブ 2 部を配布 (8 月末迄に配布予定)
 (※従来の差し替え方式は作成に手間と費用がかかるため変更し、製本したものを無料で配布する。
 2004～06 年名簿の差し替え費用については、各クラブに請求書を送付し、支払をお願いする。)

活動計画項目
1. 会員の増強及び新クラブ・新アソシエーツ結成への働きかけ…1 会員から、1 クラブから 1) 組織拡大目標 12% は継続し、達成クラブの表彰も行う。併せて、組織拡大達成のハウツーの共有を図る 2) 各クラブ地域での行政との繋がり・活用を調査し、有益な情報の発信 (会員増強に行政の後押しの影響は大きい！) 3) 各会員の専門・職域等のネットワークの活用 ①クラブの無い県に BPW 主催で時宜にあったテーマでの巡回講演・講座・シンポジウム等を行い、同時に BPW の活動も PR するにあたって、各会員のネットワークを活用。 ②会員からの意見・情報・提案の募集 組織拡大のためのツール見直し…フライヤー 2. 1) 企画委員会と協力して、上記プログラムのテーマ・講師・パンフレット及び資料等の検討・作成

- 2) 広報委員会と協力して、HPの見直し(HP上で最新のBPWI、日本 BPW 連合会及び国連やその他の活動を提供、或いは身近な法改正(男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法等)についてのリアルタイムな情報発信等)を検討しBPWを強力にアピールできるツールに変えて行く!

3. 会員名簿の作成・管理に関する再検討

- 1) 個人情報保護の観点から、今後の会員名簿作成及び配布方法について検討
- ①他の各種団体等での名簿の取扱いについて情報収集
 - ②会員の希望・意見をアンケート調査
 - ③その上で、BPW日本として保持すべき情報を再確認する

4. プロフェッションを活用した組織拡大を検討

- 1) 各専門分野・業種ごとのワーキンググループの立ち上げを検討
(テーマ・地域・研究及び連絡方法等の検討)
- ①グループごとにテーマを決めて一定期間の調査研究
 - ②BPWで取り組むべき課題を決めてその分野・職種で出来る決策・提言等の研究・模索し最終的にはBPW全体でまとめる。
- 2) 1)について発表の場を設け、広く知らしめるべきものはBPW日本の提案・提言として、公表或いは陳情する。
- 3) 非会員に対しても協力を仰ぎ、BPWへの入会・新クラブ/アソシエイト結成への足がかりとする。

- ③(財務) オンライン物販の可能性を探る。
- ④(企画) 各地でのイベント(ブロック研究会など) 情報を発信。
- ⑤(ヤング) 若い世代への呼びかけを図る。

■国際委員会

委員長 山野 幸子(担当役員 余語副会長)

全体目標「BPWI と連携した国際的活動への支援および国内における国際的視野の育成」(年間予算 10,000 円)

<活動の要点>コンGRESSも前提にした BPWI との連携

活動計画項目

1. BPWI との連携強化のための情報交換と内外への発信…コンGRESS準備も含めて

- 1) メリダコンGRESSに向けたBPWIとの関係強化と準備。(参加の意義、情報の共有化、共通認識等を含む)
- 2) BPWIからの情報を翻訳し、ニュースレターを通して会員に伝達。
- 3) 日本BPW連合会のHP英語版を充実させ、BPWIのHPとリンクさせる。
- 4) BPWIを通しての開発途上国・災害被災国への有効な支援活動の検討。特に、女性や子どもへの支援を組織的に行う。

2. ヤング対象の国際活動の展開:CSW インターン派遣の継続とフィードバック

- 1) 国連インターンの派遣事業の継続と改善…若い学生や社会人が、インターンとして国連を訪問することで国際的視野を広げる。さらにそこで女性のプロフェッショナルやリーダーシップに触れる場を提供する。

3. アジア太平洋地域における連携強化

- 1) アジア太平洋地域会議への協力の意義を共有化し、参加を推進する。

■広報委員会

委員長 二ノ宮寛子(担当役員:塩崎副会長)

全体目標「情報化・ICTs 化に即した広報の強化」(年間予算 15,000 円)

活動計画項目

1. 組織内への積極的な広報活動…各ブロック、各クラブとの連携強化

- 1) ニュースレター(NL) …印刷は最低年2回印刷、ほかはHP上にUP。
- 2) テーマを設定し、ブロック委員が取材と執筆を分担して作成する。(例:各地のヤング会員紹介など)

2. 組織外への広報活動の活性化:特に HP の充実

- 1) 自前で HP のアップデートやメンテナンスができるよう、可能性を探る。
- 2) 各クラブに HP 作成を推奨し、それらをリンクさせることで対外的なアピールを目指す。

3-1). 会報の発行

- ①年 1 回発行、各クラブ・会員の協力により、広告費での独立採算制とする。
- ②内容については、従来通り、年間活動の記録と共に、特集等で内容の充実を図る。

3-2). HP の充実…他の委員会との協働

- ①(国際) BPWI の活動をより多く発信。
- ②(組織) BPW について外部に興味を持ってもらえるようなページを作成する。

■財務委員会

委員長 土田アイ子(担当役員:塩崎副会長)

全体目標「運営費充実のための財務活動」(年間予算 10,000 円)

<活動の要点>財政再建に向けた販売活動と協力体制

活動計画項目

1. 財源確保のための企画立案・実行及び販売活動の見直し

1) 在庫品の販売…評議会・ブロック研究会での積極的販売

<和歌山大会バザー販売実績(速報)>

・バッジ 7 個	7,000 円
・クリアファイル 11 個	5,500 円(東京クラブ寄付)
・和装小物類 27 個	25,800 円(京都クラブ志野会長提供+会長寄付)
・ガーゼハンカチ 22 個	11,000 円(京都クラブ志野会長提供+会長寄付)
・タオル 32 個	12,800 円(京都クラブ志野会長寄付)
・札幌クラブ	5,000 円(総会物販収益)
・東京クラブ	5,000 円(総会物販収益)
小計	72,100 円

※タオル残 68 枚・和装小物残 17 個は連合会に寄付されました

<1月～3月総会以外の販売実績>

ハッジ@1,000×6個・Tシャツ@1,000×4枚・タオル@400×10枚計 14,000円

カレンダー100冊 収益 38,175円

<在庫状況・2007.3月末現在>

バッジ 137個 タオル 58枚 和装小物 17個

2) 新商品の販売

①環境に配慮したロゴ付きトートバック

②もったいない運動推進のロゴ付き風呂敷 など会員・会員外の方にもお求めいただけるような新商品の開発・販売

3) 地方特産品販売・・・特産物を販売幹旋

(各クラブから募集し利益の一部を連合会に寄付)

2. 全会員への財政再建意識の徹底・・・ブロック委員による活動強化

運営費充実のための財務活動

1) 財源確保のための企画立案・実行および販売活動の見直し・充実

2) 全会員への財政再建意識の徹底・・・ブロック委員による活動の強化

3) ブロック研究会・各クラブ例会等で実りある財務活動を展開

3. BPW 友の会との連携

1) 友の会担当役員への協力

■ヤング BPW 委員会

委員長 堀 倫子(担当役員 遊佐副会長)

全体目標「若い会員の支援と増強および BPW-student との連携」(年間予算 150,000円)

<活動の要点>ヤングメンバー確保、メンター制の活用

活動計画項目

1. ヤングBPW会員相互の交流とヤング対象の企画の立案・協力の要請

1) 既存のヤング ML へ更に多くのヤング会員を登録し、連合会の動きや BPWI の情報などを随時流す。

2) 全国大会参加のヤング会員と交流をし、ワークショップの企画をする。

2. BPWI の Y BPW 代表およびアジア太平洋地域代表との情報交換・交流活動

1) これまで通り電子メールを活用して交流と情報交換を行う。また、国際会議などで直接会う機会もできるだけ参加し、連合会にも情報提供する。

2) 来日が決まれば、受け入れプログラムをヤングBPW会員中心となって準備する。

3. 各ブロック内における Y BPW 会員の認知とメンター制度の推進

1) 連合会 HP やチラシを通してメンター制度の周知を目指す。

2) さらにメンターを増やし、業種別等に分類して制度を活用しやすくする。

4. BPW-student と BPW 会員との交流促進

1) BPW スチューデントの ML に参加し、連合会や BPWI の情報、また、各地クラブの例会やイベント情報などを流す。

5. 国際・企画・広報委員会との連携

1) CSW インターン派遣とヤングスピーチコンテストを国際委員会、企画委員会と共同で行い、広報委員会と連携して NL にヤング会員の紹介をする。

6. その他(組織拡大やクラブの現状など)

(出席者全員が発言)

○2007 年会報の記載事項について、修正が必要な箇所があるので、正誤表を送ることとした。

○組織拡大をどのように行うかについて、それぞれのクラブで工夫していることや課題等について意見交換を行った。

・ビジター制度、大会やセミナー、ヤングスピーチの場を生かして PR したり、会員のメーリングリストで情報発信などを行い、若い人が参加しやすい工夫をしている。

・若い人への支援に使うため、会費を高めに設定している。(出席者全員が発言)

・例会で外部講師を招き勉強会。講師にも入会を依頼。

・プロの会員が多いので、講師をお願いしている。

・市長との座談会なども実施。政治にも関心を持つよう地方選挙でも女性に働きかけている。

・県の男女共同参画委員会にメンバーを送っている。行政とのつながりを強めることも必要。

・女性監督がつくる女性の映画(「レオニー」)をバックアップする活動も行っている。

・会員一人が必ず一人の新会員を確保するよう頑張っている。

・高齢化、退職などで退会する人が多いが、お互いに支えあいながら続けている。

・組織の中にいくつかの異なる流れがあり、調整が難しいこともある。

・日本海側、西日本、九州などにクラブが少ない。クラブのない県のお知り合いを紹介してほしい。

(以上)

■■■■重要なお知らせ■■■■

コンGRESS最新情報

2008 年 10 月開催予定のコンGRESSの開催地が変わります！

旧:メキシコのメリダ市

新:メキシコのメキシコシティ

2008 年 10 月 24～28 日

首都への変更となり、海外からのアクセスがよくなりました。どうぞ奮ってご参加ください。なお、詳しい情報はまだまだのようですが、入り次第お知らせいたしますのでお待ちください。

BPW International アジア太平洋地域会議報告

日本 BPW 連合会会長 黒崎伸子

会期:2007 年 5 月 13 日～15 日

会場:Hotel Prima、ソウル／韓国

前回の 2004 年ネパール以来のリージョナル会議であった。ネパールへは 6 名の参加者があったのだが、今回は隣国・韓国にもかかわらず、時期的なこともあり仕事を休めないため日本からの参加はわずか 3 名と少なく、非常に残念であった。私は福岡からソウルに向かったがフライト時間はわずか 80 分と東京より近い。

今回は 5 月 10～13 日に第 4 回世界ヤング BPW 会議が先立って開催されており、その参加者たちも加わって、さらに国際色豊かであった。全体のプログラムを記すが、今回はそれぞれのスピーカーが熱心だったせいか、タイムキーパーがちょっとルーズだったせいか、次々に進行が遅れていって、ハラハラした。それぞれの内容の要点のみをお伝えする。



(写真:日本からの参加者 左から土田財務委員長、黒崎会長、平松前会長)

プログラム

5 月 13 日 (日) 18:30～21:30 Grand Reception および表彰式※1

5 月 14 日 (月)

9:00～9:30 開会式※2

9:30～9:50 基調講演 I ※3

9:50～10:20 基調講演 II ※4

—休憩—

10:50～11:40 パネル・セッション「New Dimensions of Leadership」※5

11:40～12:30 ビジネス・セッション I 「組織拡大—現状と課題」※6

—昼食—

13:30～14:30 組織見直しセッション I 「NPO としての財政基盤の安定化」※7

14:30～15:10 組織見直しセッション II 「世界の現状変化に見合った運営管理」※8



(写真:参加者の土田財務委員長、男性の協力と物販の活動状況を報告)

—休憩—

15:30～16:20 ビジネス・セッション II 「各委員会・特別委員会の活動報告」※9

16:20～17:30 ビジネス・セッション III 「女性の発展のための提言」-各国報告※10

《夕食》※11

5 月 15 日 (火)

8:30～9:20 ビジネス・セッション IV 「女性の発展のための提言」—各国報告※12



(写真:連合会黒崎会長 日本 BPW の報告)

9:20～10:40 組織見直しセッション III 「国際的女性ネットワークの機能」※13

—休憩—

11:00 ～ 12:00 組織見直しセッション IV Brainstorming (昼食) ※14

①BPW 財政政策—改革・提言

②BPW 運営—改革・提言

③BPW ネットワーク—改革・提言

13:00～14:40 組織見直しセッション V 各グループ報告※14

—休憩—

15:00～17:00 ビジネス・セッション V 総括

19:00～22:00 ガラ・ディナー



(写真: AP リージョナル・コーディネーターのアンビカ氏と)

※1 インターコンチネンタル・ホテルの大ホールで開催された歓迎レセプションは BPW メンバー以外に韓国で活躍する女性たち、行政関係者などが集まったの盛大なものであった。ドレスコードはフォーマルドレスで、韓国のチマチョゴリはもちろんであるが、大きく胸の開いたドレスを着た眩しいばかりのヤングメンバー、カラフルなアフリカの衣装など、まさに international な雰囲気、おそらく 300 人くらいの参加者ではなかったかと思われる。その中でも注目は、つい最近 40 代でソウル市長になった男性。毎回、「ハンサムな～」と形容詞をつけて紹介され、ご本人は食事をとる暇がないほど、一緒に写真をとって欲しいと女性たちに囲まれていた。表彰は BPW 韓国が毎年画期的な女性支援を行っている企業や個人に与えている“BPW 金賞”の 14 回目の表彰・授与とヤング BPW 賞(業績とエンパワーメント)の授与であった。

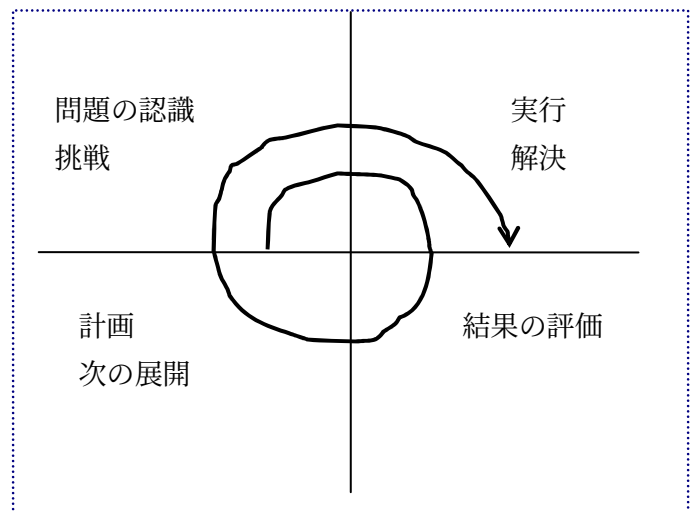
※2 BPW 韓国会長、BPWI 会長に続くスピーチ

を韓国初の女性首相がする予定だったために、30 分前には参加者は入場するようという厳しい警備であったが、結局は副首相が代理出席であった。

※3 「韓国における男女平等政策と女性リーダー育成のための試み」と題して、韓国の男女平等家族省の副大臣が講演・・・女性の雇用を創設し、年代別女性就労曲線の M 字曲線や賃金格差を是正すべく各種施策に取り組んでいることを説明。日本と似た状況であるが、その取り組みの熱意は韓国の経済発展のためには、学校教育の段階を巻き込むことさえも視野に入れ、さらには IT への女性の関与に力を入れている点で画期的であると思われた。

※4 「前進へむけて: BPW 改革への挑戦」と題した Chonchanok 会長のスピーチはいつも増して熱がこもっていた。特に、“BPW power to make a difference”のためには①女性それぞれがリーダーシップを発揮すること ②アドボカシー ③行動 の3つが重要とした。また、“Action first, Talk after approach”について

は、下図を提示して、私たちがいかに問題に継続して取り組むべきかを強調した。



※5 3 人のスピーチがあったが、最初の前 BPW 会長 Antoinette Ruegg の講演は女性の心理・行動を生物学的に分析しての発言で非常に興味深かった。「例えば、仕事でミスをした場合に、男性は他人や環境のせいにするが、女性は自分やその能力不足のせいであるとする傾向がある。生命が誕生する段階から、精子は無数の敵との競争から生き残ったものであることもこのような特性を発揮するのもかも知れない。女性は、生命をはぐむという特性があるが妊娠・出産から子育てなどの生殖に関する期間は約 12 年間であり、この期間の経験から得られる適応・変化できる能力は次の可能性に導くのである。」2 人目はタイ・東芝の社長になった女性のテーマは「世界における女性起業家の指導力」。3 人目は、韓国の消費者協会を運営する女性は「民間における女性のリーダーシップ」と題して、家庭にいた女性たちがインターネットを活用することで、状況が変わりつつあると報告した。

※6 BPW における会員・組織の現状と問題を

①国際組織については、第 2 副会長 Elizabeth Benham (ニューヨーク) ②アジア太平洋地域については、リージョナル・コーディネーターの Ambica Shresha(ネパール) ③ヤングについては、BPWI ヤング委員長 Rooma Para (バングラディッシュ) らが報告した。BPW の認識を高めること以外に、さまざまな手法で会員を増やすことは、女性のより大きな声を社会に知らせるために必要であると協調した。今回、会員増のために二つの企画が提示された。1) まずは、“Triple One Membership Challenge”という運動: この 3 年間で一人の会員が毎年一人ずつ会員を増やしたら、Triple Crown Pin を贈呈する。2) 2008 年 7 月までに 10 人の会員増に貢献した会員には、メリダコンgressに参加する航空券をプレゼントする。(これには、最初

に登録をして、10人の新会員名を報告したら、航空券がもらえる。)

※7 3人のスピーチがあったが、BPWI関係者2名は、①BPWIの財政強化のためには、まず会員増である。②Friendsのサポートが大きい。と報告し、最後にAPEC教育基金でBPWプログラムとして韓国で開催しているネットワーク・プログラム(若い女性を対象に、インターネットの活用、リーダーシップ・キャンプ、キャリア・コーチングなどについての数日間のセミナー)を担当者が紹介した。

※8 再びBPWI会長Chonchanokの話であるが
テーマはBPWIの活動の継続性・ダイナミズム・専門性・特殊性をさらに促進するために必要な改革のいくつかを紹介。例としては、インターネット上での役員会、25ある委員会の連携構築、過去の実績のデジタル・データ化など

※9 1)「メンターリング」:①ビジネス・個人的問題へのサポート、キャリア育成、技術訓練、コミュニケーションの視点で行う。

②Web上で登録して、参考になるケースを紹介(bpwmentoring@yahoo.com) 2)「女性に対する暴力についての調査プロジェクト」:Five-Oとして、女性への暴力の撲滅をめざしている 3)「WHOと協働の健康に関する調査プロジェクト」:①エイズ問題と女性差別などへの取り組み ②教育の重要性を強調

※10 アルファベット順というので、オーストラリア、バングラディッシュ、クック諸島、香港、日本のカントリーレポート。BPW連合会として10年以上にわたる中東との女性交流や全国各ブロックにおける有意義な研究会を中心に報告。その後、次のリージョナル・コーディネーターの候補者紹介の予定であったが、コンGRESSで決めるべき選挙を、限られた参加者で行うことへの反論などもあり、来年のコンGRESSでルールに則って行うことが決定した。

※11 公式行事にはなかったのであるが、ソウルコンベンションセンターの会長のご招待で、元王室の邸宅を改築してレストランにしたという素晴らしい場所で各国からのメンバーと一緒に食事をした。土田さんは、キム・ヨンジャの歌をハングルで披露し、大喝采を浴びた。

※12 韓国、タイ、ウズベキスタン、パプア・ニューギニア、スリランカ、台湾などのカントリーレポート

※13 1) Chonchanok 会長によるBPWI改革の提案:何が必要とされているかの把握が重要。いい人材を逃がさないようにしたい。組織には量か質かの視点があるが、どちらも重要である。バーチャル・クラブがあってもいい。高齢の会員は若い会員を誘って欲しい。ニュースレターや website を活用したコミュニケー

ションの促進を図る。かつて、インターネットの利用率3.5%でしかなかった主婦でさえ、今は20%も活用しているのだから、インターネットの有効利用・アピールが組織強化につながる。

2) アンケート調査結果報告:BPW 韓国がインターネットで各国にアンケートを送信して得られた結果をまとめた結果が紹介された。

3) APECにおける女性起業家のためのE-Bizトレーニングについて報告

※14 参加者全員が①BPW 財政政策—改革・提言②BPW 運営—改革・提言 ③BPW ネットワーク—改革・提言のテーマごとに3つのグループに分かれて、昼食をとりながら、議論を行った。グループワーク形式で行い、全体会場に戻って、それぞれの報告を行った。それぞれの会員が、他国のBPW会員と直接話し、相互の状況や取り組みなどについての情報交換をしながら、「BPWとは何か」「BPWは何をすべきか」「BPWにおいて何ができるか」などを改めて話し合う時間を共有した。

以上が、会議の全容であるが、とにかく、韓国各地から集まったBPWメンバーの元気には圧倒された。また、日本のBPWともっと交流したいという要望も多く、多くの方から声をかけて頂いた。非常に近い国であり、韓国のメンバーには日本語の堪能な方も多く、今後、もっと密な交流が必要であることを再認識した3日間であった。



(写真:BPWI 会長チョンチャノック氏と)

■編集後記

今回、前回発行から時期があいたこともあり、ページ数が多くなったため、急遽「BPW 日本—エジプト交流報告」を別号発行としました。Vol.88, Vol.89の2号あわせて最後まで読んでいただきますようお願いいたします。全国各地で天災が起きております。暑い夏も到来しましたし、皆様お気をつけてお過ごしください。(二)